

2018年12月15日

12月15日、東京都立多摩高等学校・教諭の望月未希先生に、「進路多様校における、社会に開かれた教育を通じたカリキュラム開発」と題して、ご講演いただきました。

ご講演当日は、教育課程論受講生72名、E.FORUM会員6名、その他10名、計88名と多数に参加いただきました。教育課程論受講生は、将来教職に就くことを目指している学生たちです。府外からはるばる来られた先生方もおられました。

望月先生は、生徒のモチベーションが低い状況を改善するため、「地域社会とのつながりをもつ社会に開かれた教育課程を編成することで、生徒たちを勇気づけ、教育効果を高めることができる」との仮説を設定しておられました。そして、この仮説をもとにしたカリキュラム・マネジメント実践の具体的事例についてお話いただきました。単に基礎学力を向上させるだけの格差是正に疑問を感じた望月先生は、様々なきっかけを用意して生徒が自分からやりたいことを見つけられる環境を作り上げることを目指しておられました。望月先生の実践は、学校教育の役割について再考させられるものでした。



以下、受講者から寄せられたコメントの一部を紹介します。

#### ○教育課程論受講生

- ・つながりを持ち、自身を生み出すことについて、学習者に自信をもたせることは、学習者の学習に対するインセンティブをつくることに効果的であることに強く共感しました。
- ・「格差の再生産」の話はよく聞きますが、そこに対する具体的な取り組みを聞く機会はなかなかなかったのでよい経験になりました理想論だけでなく、現実を見すえながら、社会とのつながりによって自信を生み出していくプロセスがとても勉強になりました。
- ・座学に苦手意識を持つ生徒にとって、学校に学問以外の場という価値づけをするということは、居場所づくりという点において大変有効だと思いました。
- ・学力が低い生徒たちへのアプローチというどうしても学習面でのことばかり考えがちですが、それを「人との関わりが希薄だから」という分析をされ、地域社会とのつながりを作る行事を実行されたのには驚きました。
- ・現状を打破するのに公教育では限界があるかなって思っていました。でも、望月先生の「地域とつな

がる主体的な教育」とか「小さな失敗を織り込む」っていうことにすごく共感しました。そして、公教育でもできるのかもしれないって希望がもてました。

- ・学校でこんなことができるんだという驚きがありました。失敗を意図的に織り込むという所が印象に残りました。失敗をしても認められる、大丈夫ということが伝わるから生徒もいろいろチャレンジできるのかな。
- ・たくさん失敗をしてそのたびに落ち込みますが、それを経験として捉えて、いつか子どもたちと出会った時に「こんな失敗をしてね…」と話ができたらいいなと思いき元気をだしています。失敗があるからこそ人の気持ちが分かるようになるし、失敗するから人とつながることができるのだろうなと改めて思いました。
- ・生徒たちのプライドを守り、いかに彼らの夢をかなえるようにするかを望月先生が考えていらっしゃるかがよくわかりました。他の学校で教えていた内容と同じ内容を教えている、レベルを下げたことはないという所に、教育のあるべき姿を見たように感じます。
- ・すごくたのしかったです!!進学校出身ですが、勉強内容が社会生活に生きるという実感をあまりせずに学んできたので、進路を問わず様々な学校でこのような活動ができるような教育の仕組みができると良いと思いました。
- ・教育現場は実践の場であり、それと同時に学問の場でもあるということから教師としての成長もはかることができるというのを再確認できました。思ってもみなかった事件も心の中で楽しみながら教員として頑張っていきたいと思えます。
- ・地域にひらかれた教育の中で、周りの人と関わって何かを生む、変えるという経験が生徒に自信をつけるのだと思いますが、望月先生の人とのつながりを生もうとするカリキュラムは教科や学校で教えることの枠をこえて、生きていく上で大切なことを生徒に身につけさせる取り組みだと考えました。

#### ○E.FORUM 会員

- ・先生の言われるフックにひっかかってはいるけど、ここから先、外にむかって生徒自身が考え始めているのかもしれないとポジティブに考えると、生徒たちの成長を待つことが楽しみになりました。
- ・先生の迫力に元気をいただきました。主体性を育てることの大切さをあらためて感じます。
- ・学びの場の拡張をもっと意識してやっていくべきと感じました。教師、家族、教育環境等はなんとなく意識していましたが、地域への拡張はなかなか難しいと感じていました。今日、具体策をお聞きできたので、参考にしたいと思えます。
- ・教育の可能性を感じることができました。また、教育は「システム」ではなく、人の「思い」「志」だなあと感じました。誰かが最初の意志をころがすきっかけを作らないと始まらない。

望月先生の教育にかける希望とその具体像が実感できるご講演であったことが、コメントからもうかがわれます。遠方よりお越しいただきご講演くださった望月先生に、感謝申し上げます。

(文責 鎌田祥輝)